

せいかつ にほん ごきょうしつ 生活日本語教室だより 2014年12月号

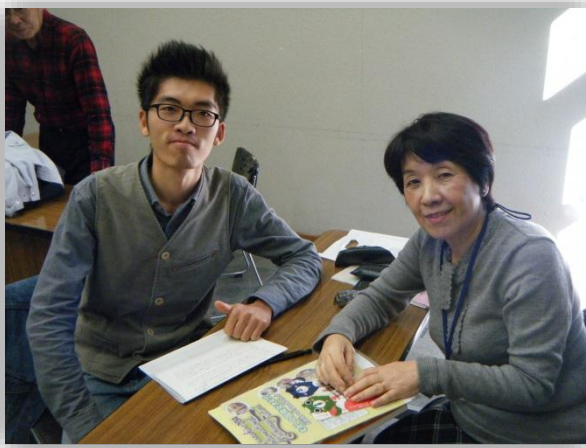
にほん じゅうにがつ せいかつ にほん ごきょうしつ よ なぜ「師走」と呼ぶのかは、たんとう すたっぷに
 日本では、12月のことを「師走」と呼びます。なぜ「師走」と呼ぶのかは、担当のスタッフに
 き 訊いてみてくださいね。ことし はじめに、はつもうでなどでねがったことは叶いましたか？ことし さいご かざ
 今年の始めに、初詣でなどで願ったことは叶いましたか？今年の最後を飾
 つき じゅうにがつ みな いちねん し すてき つき
 る月。12月が皆さんにとって、この一年を締めくくる素敵な月になりますように。

こんかい こがねい し せいかつ にほん ごきょうしつ じゅぎょうふうけい じゅぎょうないよう いちぶ しょうかい
 さて、今回は小金井市生活日本語教室での授業風景や授業内容の一部をご紹介します。



まいつき まいしゅう せいと にゅうしつ たいけんじゅぎょう う きぼう かた さんか さまざま
 毎月、毎週、生徒が入室します。体験授業を受け、希望された方が参加します。様々
 くに さまざま ねんれい さまざま しよくぎょう りゅうがくせい だいがくいんせい しゅふ かた
 な国、様々な年齢、様々な職業、留学生、大学院生、主婦の方もいます。





こがねいしにほんごきょうしつせんせいがたかくらすじゅぎょうないようおし
 小金井市日本語教室の先生方に、各クラスの授業内容を教えてもらいました。

ちゅうごくりゅうがくせいべんきょうかれちゅうごくだいがく
 中国からの留学生と勉強しています。彼は中国の大学で
 にほんごまなにほんごりかいくらすにほんご
 日本語を学び、おおむね日本語が理解できるので、クラスでは日本語のみ
 でなく、にほんぶんかあるばいとさがもぎめんせつにほんしゃかいはたら
 アドバイスなど、幅広く会話を楽しています。

せんしゅうのうこうだいがくせいふたりしよきゅう
 先週より農工大の学生お二人、初級です。
 じこしょうかいはじ
 自己紹介から始めています。

いろいろてーまかいわ
 みんなで色々なテーマで会話をしています。



じかん ばしょ どうし つか いちにち
 時間・場所と動詞を使って一日の
 こうどう い あらわ
 行動を言い表してもらいました。
 「いただきます」「ってきます」
 あいさつひょうげん けいようし あじ
 などの挨拶表現、形容詞で、味や
 かんじよう い あらわ かた べんきよう
 感情の言い表し方を勉強して
 います。

じゆうかいわ いっしゅうかん できごと くさつおんせん
 ・自由会話（一週間の出来事、草津温泉
 についてなど）・18課の復習
 もよお もの だんたい こじんりょこう はなし
 ・催し物、団体、個人旅行の話など

みちか わだい あつか しんぶん きじ ほん よ ないよう
 身近な話題を扱った新聞記事や本を読み、内容
 はあく で かんじ よ
 を把握しながら、出てきた漢字を読めるようになり、
 またその漢字をなるべく多く書けるようになる
 がんば
 よう頑張っています。

ちゅうごく かた ふうらんす かた う も
 中国の方とフランスの方を受け持っています。
 けいようし けいようし げんざいけい かこけい
 い形容詞、な形容詞の現在形、過去形をやっています。

今日の授業は新聞の見方です。教材は今日の読売新聞、日本経済新聞。「見出し」「写真」「表」などからニュースを理解する練習です。一人の学習者が一つの記事を担当し、他のクラスメートに説明します。他のクラスメートは説明に対する質問をしながら、お互いに理解を深めていきます。本日の第一面は両紙共に「日中首脳会談へ」でした。

高校の国語の教科書Ⅰから《「私」のいる文章といない文章 森本哲郎著》を読んでいます。

目標：文章の内容のたいを読み取り、印象に残ったところについて深める。

『愕然とした』は中国と同じ意味で使われています。」

「なぜ日本の高校生は漢文を勉強するのですか。」

など、いろいろ質問や感想を積極的にしてくれるので、私もたくさん刺激を受けています。どんなことを一緒に勉強していこうかとワクワクしています。

学習者（2～3名）は、口語体ではない改まった表現、限られた場面での敬語の使い方、仕事上のメール文章等のレベルアップを希望しているので物語、エッセイ、新聞記事などの読み合わせによる文章に慣れることでの、聞き取り、発声の練習、文章どっかいちゅうしんじゅぎょうほかがくしゅうしゃそうごじゅうかいわを中心に授業。他に学習者相互の自由会話と学習者作文の添削なども適宜行っています。

きょうほかすたっふくらすうけもつたので、めいしどうぶつふる一つ
 今日^{きょう}は他^{ほか}のスタッフ^{すたっふ}のクラス^{くらす}を受け^う持^もったので、名詞^{めいし}（動物^{どうぶつ}・フルーツ^{ふる}）を
 ごこい つぎ どうし けい つか ぶん つく
 5個^{ごこい}言^いってもらい、次^{つぎ}に動詞^{どうし}のます形^{けい}を使^{つか}って文^{ぶん}を作^{つく}ってもらいました。
 けいようし けいようし けいようし かんけい ぶん つく さき
 そして、形容詞^{けいようし}（い形容詞^{けいようし}、な形容詞^{けいようし}関係^{かんけい}なく）文^{ぶん}を作^{つく}ってもらい、先^{さき}
 つく ぶん くわ けいようし ほんたいご い
 作った文^{つく}に加^{くわ}えてもらいました。形容詞^{けいようし}は反対語^{ほんたいご}を言^いってもらいました。
 ひかくきゅう なか いちばん
 比較級^{ひかくきゅう}、～は～より〇〇である。や、～は～の中^{なか}で、一番^{いちばん}〇〇である。
 など^{なか}もやり^いました。

かんじ おんよ くんよ ぶしゅ がいりやく せつめい
 漢字^{かんじ}の音読み^{おんよ}、訓読み^{くんよ}、部首^{ぶしゅ}の概略^{がいりやく}を説明^{せつめい}。
 にんべん きへん なべぶた うかんむり で き かんじ ぐたいれい しめ
 ニンベン^{にんべん}、キヘン^{きへん}、ナベブタ^{なべぶた}、ウカンムリ^{うかんむり}から出来^でている漢字^{かんじ}の具体例^{ぐたいれい}を示^{しめ}し、
 かんじ よ かた い み えいご せつめい か かた き かた はつおん よくよう ほんぶく
 その漢字^{かんじ}の読み方^よ、意味^{かた}（英語^いでも説明^み）、書き方^{えいご}、聞き方^{せつめい}（発音^か、抑揚^{かた}、反復^き
 れんしゅう せつめい じかい にほん しょうがっこう まな いっせんろくじ
 練習^{れんしゅう}）を説明^{せつめい}。次回^{じかい}から、日本^{にほん}の小学校^{しょうがっこう}で学^{まな}ぶ1,006字^{いっせんろくじ}について、
 にちじょう つか えら ぐたいれい しめ がくしゅう
 日常^{にちじょう}よく使^{つか}われているもの^{えら}を選び^{ぐたいれい}、具体例^{しめ}を示^{しめ}し、学^{がく}習^{しゅう}する。

え ぼら しゅつ けつ ねつ たたか にしあふりか ぎにあ りべりあ こんご いし
 エボラ^え出血熱^{ぼら しゅつ けつ ねつ}と戦^{たたか}う、西アフリカ^{にしあふりか}のギニア^{ぎにあ}、リベリア^{りべりあ}、コンゴ^{こんご}の医師^{いし}、
 かんごし とくしゅ ますく ななじゅうごどる ひとりぶん いちまんにんぶん きふ
 看護師^{かんごし}たちのため^{ため}に、特殊^{とくしゅ}なマスク^{ますく}（75\$^{ななじゅうごどる}1人分^{ひとりぶん}）を一万^{いちまんにんぶん}人分^{きふ}寄付^{きふ}した
 にほんきぎょう じゃほん たいむず きじ わやく わやくぶん がくしゅうしゃ
 日本企業^{にほんきぎょう}についてのJapan Times^{じゃほん たいむず}の記事^{きじ}を和訳^{わやく}し、この和訳文^{わやくぶん}を、学^{がく}習^{しゅう}者^{しゃ}に
 よ き あと がくしゅうしゃ りかい
 ゆっくり^よ読み聞^きかせ、その後^{あと}に学^{がく}習^{しゅう}者^{しゃ}に読^よんでもらい、どこまで理^り解^{かい}でき
 かくにん ないよう つか えいぶん き じ み がくしゅうしゃ じしん
 いるか^{かくにん}を確^{ないよう}認^{つか}。ほぼ内^{えいぶん}容^きを掴^じめたところ^みで、英^{がくしゅうしゃ}文^{じしん}記^り事^{かい}を見^みせ、学^{がく}習^{しゅう}者^{しゃ}自^じ身^{しん}、
 にほんぶん ないよう せいかく よ かくにん
 日^{にほん}本^{ぶん}の内^{ない}容^{よう}を正^{せい}確^{かく}にわ^{かくにん}かっ^{かくにん}て読^よんで^{かくにん}いた^{かくにん}か^{かくにん}を確^{かくにん}認^{かくにん}し^{かくにん}て^{かくにん}ら^{かくにん}う。

せいかつにほんごきぎょうしつ すたっふ じゅぎょう かんが つた
 生活^{せいかつ}日^{にほん}本^ご語^{きぎょう}教^{しつ}室^{すたっふ}のスタッフ^{じゅぎょう}が、ど^{かんが}んな^{かんが}ふ^{かんが}う^{かんが}に授^{かんが}業^{かんが}につ^{かんが}いて考^{かんが}え^{かんが}て^{かんが}い^{かんが}る^{かんが}か^{かんが}が、伝^{つた}わ^{つた}っ
 た^{つた}で^{つた}し^{つた}ょう^{つた}か。学^{がく}習^{しゅう}者^{しゃ}の皆^{みな}さん^{みな}が、少^{すこ}し^{すこ}でも日^{にほん}本^{にほん}や日^{にほん}本^{にほん}人^{にほんじん}を理^り解^{かい}して日^{にほん}本^{にほん}語^ごが上^{じょう}達^{たつ}
 よう^よに、日^{にほん}本^{にほん}語^ごの勉^{べん}強^{きやう}は楽^{たの}しい！と皆^{みな}さん^{みな}に言^いっ^いて^いもら^いえ^いる^いよ^いう^いに、私^{わたし}たち
 ぼら^{わたし}ん^{わたし}て^{わたし}い^{わたし}あ^{わたし}す^{わたし}た^{わたし}っ^{わたし}ふ^{わたし}が^{わたし}ん^{わたし}ば
 ボランテ^{ボランテ}ィ^ィア^ィス^ィタ^ィフ^ィは頑^{がん}張^ばります。The Ganbarimashō study of Japanese!!